

台風に対する備え

防災課

台風による被害

日本には毎年7月から10月を中心に台風が上陸し、土砂災害や河川の氾濫などにより、大きな被害が発生しています。

〔大雨による被害〕

台風やその周辺部では、激しい雨が長時間にわたって降り続くことがあります。また、台風が日本から遠く離れた南の海上にあっても、日本付近に前線が停滞している場合、暖かく湿った空気が流れ込み大雨となることがあります。このため、がけ崩れや土石流、地すべり、河川の氾濫が発生し、私たちの生命が脅かされることがあります。



令和元年東日本台風（台風第19号）では、関東地方や東北地方の太平洋側を中心に、土砂災害や河川の氾濫などにより、100名を超える死者・行方不明者が発生するなど甚大な被害が生じました。



令和元年東日本台風による浸水被害 宮城県丸森町
(山形県消防防災航空隊提供)

〔暴風による被害〕

台風の周りでは強い風が吹いています。平均風速15～20m/sの風であっても、歩行者が転倒したりすることがあります。さらに風が強くなると、物が飛んできたり、建物が損壊したりするようになり、平均風速40m/sを超えると住家が倒壊することもあります。



令和元年房総半島台風（台風第15号）では、千葉市で最大瞬間風速57.5m/sを観測するなど各地で暴風となり、関東地方を中心に住宅約74,000戸が損壊するといった被害が発生しました。

また、倒木や飛来物により、多くの電柱が倒れるといった被害が発生し、大規模な停電が発生しました。

台風の周辺では、竜巻が発生することもあり、家屋の倒壊や車両の転倒、飛来物の衝突などにより被害をもたらすことがあります。

〔高潮・高波による被害〕

台風が接近して気圧が低くなると海面が持ち上げられます。そこにさらに強い風が吹き寄せて、大きな高潮・高波災害が発生することがあります。平成30年台風第21号では、大阪湾を中心に過去最高潮位を超える値を観測するなど顕著な高潮になり、関西国際空港の滑走路が浸水するなど大きな被害が発生しました。



台風への対応

(1) 事前の備え

台風へ備えて、次のような準備を十分にしておきましょう。

- ・窓はしっかりと鍵をかけ、必要に応じて補強する。
- ・風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定し、格納できるものは家の中へ格納する。
- ・避難生活や停電に備え、食料、簡易トイレ、マスク、懐中電灯、ラジオなどを入れた非常用持ち出し袋を用意する。

そして、一人ひとりが、どのような避難行動をとれば良いか、あらかじめ理解しておくことが大切です。日頃からハザードマップを確認するとともに、災害に関する情報をテレビ、インターネット、メールなど、どの手段から入手し、自らがどのような避難行動をとればよいかなど、災害時にとるべき行動を確認しておきましょう。

(2) 迅速な避難

住民がとるべき行動や避難情報は5段階の警戒レベルに区分して提供されています。市町村から警戒レベル4の避難指示や警戒レベル3の高齢者等避難が発令された際には速やかに避難行動をとる必要があります。強い降雨や暴風を伴う台風が接近・通過することが予想される場合には、気象庁などから出される洪水や土砂災害に関する防災気象情報を参考としながら、避難指示などが発令されていなくても自ら避難の判断をすることが非常に重要となります。

消防庁では、市町村長の災害対応の経験をもとに「市町村長による危機管理の要諦」(注1)を作成しているほか、



「防災・危機管理e-カレッジ」(注2)では、「防災気象情報・避難情報等に基づく避難行動(風水害)」などの動画を掲載しています。台風に備え、ぜひご確認ください。

(注1) 市町村長による危機管理の要諦

市町村長による危機管理の要諦 一初動対応を中心として一

避難指示等の的確な発令から抜粋

(1) 避難指示等の意義と重要性

災害が発生する危険性が高い状況を地域の住民に直接伝達する最も有効な手段が避難指示等を発令すること。
避難指示等の発令は、住民の生命を守るための災害時における市町村長の最大の使命。

(2) 「見逃し」よりも「空振り」を

特別警報などの生命に関わる気象情報の伝達や避難指示等の発令は、「見逃し」より「空振り」の方が良く、犠牲を問わず、あらゆる手段を用いて住民へ伝達するとともに、要配慮者については事前から早めの避難準備行動を促す。

～町民を守るためには、プラス1のリスク対応を判断する必要がある～

町長として町民の生命を守るためには、気象庁の想定にプラス1のリスク対応を判断する必要があると考えている。町職員は規定に沿って仕事をし、その規定を超えた対応を、職員に指示できるのは首長だけだ。今回の場合は、大きな浸水被害がなかったため、空振りという人がいるかもしれないが、私は気にしない。東日本大震災を体験した人として、大きな被害が起きた時の苦しみや悲しみ、大変さを知っているから。

(地震災害に対応した○○町長の苦節)

(掲載元：<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/index3.html>)

(注2) 防災・危機管理e-カレッジ

防災・危機管理 e-カレッジ

e-COLLEGE

「防災・危機管理e-カレッジ」は、インターネット上で、いつでも、誰でも、無料で防災の知識や災害時の危機管理について学習ができるサイトです。

サイトへは
こちら

👤 こども向け
👤 一般の方向け
👤 市町村長の方向け

「こども向け」のタブを選択し、動画をお探してください。

こども向け

クイズで防災を学ぼう!(台風編)

クイズで防災を学ぼう!!

～ 命を守るために学ぼう! ～

低学年の方へ
高学年の方へ

👤 こども向け
👤 一般の方向け
👤 市町村長の方向け

「一般の方向け」のタブを選択し、動画をお探してください。

一般の方向け

「防災気象情報・避難情報等に基づく避難行動(風水害)」

台風などの風水害から身を守るために防災気象情報や避難情報について学びましょう。

5 緊急安全確保

4 避難指示

3 高齢者等避難

2 大津・洪水・高層建築等(既発時)

1 早期避難準備(既発時)

避難情報

(掲載元：<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/index3.html>)

問合せ先
 消防庁国民保護・防災部防災課
 TEL：03-5253-7525

消防の動き '24年7月号 -37-